

平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年1月29日

上場取引所 東

上場会社名 わかもと製薬株式会社

コード番号 4512 URL <http://www.wakamoto-pharm.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 石井 敬志

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 増田 康彦

TEL 03-3279-0371

四半期報告書提出予定日 平成22年2月12日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	7,461	△3.2	93	△75.1	266	△63.5	133	△68.8
21年3月期第3四半期	7,711	—	374	—	729	—	428	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	3.88	—
21年3月期第3四半期	12.43	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	17,847	12,716	71.2	369.75
21年3月期	17,745	12,763	71.9	370.70

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 12,716百万円 21年3月期 12,763百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	2.50	—	2.50	5.00
22年3月期	—	2.50	—		
22年3月期(予想)				2.50	5.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,840	△2.4	0	△100.0	160	△73.7	80	△77.2	2.33

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、4ページ「定性的情報・財務諸表等」4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第3四半期 34,838,325株 21年3月期 34,838,325株

② 期末自己株式数 22年3月期第3四半期 447,023株 21年3月期 408,379株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第3四半期 34,423,073株 21年3月期第3四半期 34,457,234株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき作成されたものであり、実際の業績は、今後様々な要因により、これらの業績予想とは異なる場合があります。なお、予想数値に関する事項は、4ページ「定性的情報・財務諸表等」3. 連結業績予想に関する定性的情報をご参照ください。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における医薬品業界は、引き続き医療費抑制策の基調は変わらず、また、大衆薬市場も低迷が続いており、厳しい環境下で推移いたしました。

そのなかにあつて当社グループの医療用医薬品事業では、主力製品である「ジクロード点眼液0.1%」、「リズモンTG点眼液」、「ゼペリン点眼液0.1%」等の眼科領域主力製剤の販売促進に加え、7月に後発品点眼薬のプロストン系緑内障・高眼圧症治療剤「イソプロピルウノプロストン点眼液0.12%サワイ」を発売し、普及活動に注力いたしました。

薬粧品事業では、主力製品「強力わかもと」の品揃えとしてアスペルギルス・オリゼーNK菌を用いた「わかもとNK胃腸薬」を8月から発売いたしました。これは、脂肪消化酵素（リパーゼA P12）を加え消化作用を強化した製品で第3類医薬品として販売活動に努めてまいりました。

その他の事業では、海外向け乳酸菌および点眼剤、医薬品原料の販売と他社受託品の受注に努めてまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は74億6千1百万円（前年同期比3.2%減）、経常利益は2億6千6百万円（前年同期比63.5%減）、四半期純利益は1億3千3百万円（前年同期比68.8%減）となりました。

事業の種類別セグメントの業績は、次のとおりであります。

事業別の売上高の状況につきましては、医療用医薬品事業では、新発売の「イソプロピルウノプロストン点眼液0.12%サワイ」が売上に寄与しましたが、主力点眼剤の「ジクロード点眼液0.1%」、「リズモンTG点眼液」「ゼペリン点眼液0.1%」が競合品の影響もあり、減少いたしました。その結果、売上高は49億6千万円（前年同期比1.5%減）となりました。

薬粧品事業につきましては、新発売の「わかもとNK胃腸薬」が売上に寄与し、乳酸菌配合薬用歯磨き「アバンビーズ」も増加しましたが、主力製品の「強力わかもと」が減少いたしました。その結果、売上高は16億4千1百万円（前年同期比2.3%減）となりました。

その他の事業では、輸出用「わかもと」は増加しましたが、海外向け乳酸菌が減少いたしました。その結果、売上高は8億6千万円（前年同期比13.5%減）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、178億4千7百万円となり前連結会計年度末比1億2百万円（0.6%増）の増加となりました。流動資産は81億4千1百万円となり7億3千4百万円（8.3%減）の減少、固定資産は97億6百万円となり8億3千6百万円（9.4%増）の増加となりました。

流動資産が減少いたしましたのは、有価証券が減少したことが主たる要因であり、固定資産が増加いたしましたのは、相模大井工場において点眼剤製造設備建設のため、有形固定資産（建設仮勘定）が増加したことが主たる要因であります。

一方、負債の部は、51億3千1百万円となり前連結会計年度末比1億4千9百万円（3.0%増）の増加となりました。流動負債は22億1百万円となり10億9千8百万円（33.3%減）の減少、固定負債は29億2千9百万円となり12億4千7百万円（74.2%増）の増加となりました。

流動負債が減少いたしましたのは、設備関係の未払金が減少したことが主たる要因であり、固定負債が増加いたしましたのは、長期借入金が増加したことが主たる要因であります。

純資産の部は、127億1千6百万円となり前連結会計年度末比4千7百万円（0.4%減）の減少となりました。利益剰余金が減少したことが主たる要因であります。この結果、自己資本比率は、前期末の71.9%から71.2%となりました。

キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末におけるキャッシュ・フローの残高は、前連結会計年度末から10億3千万円減少し、14億3千3百万円となりました。その内容の主なものは次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第3四半期連結累計期間において営業活動により増加した資金は9千1百万円となりました。（前年同期に比べ収入が5億8百万円減少）

この主な要因は、税金等調整前四半期純利益が2億6千3百万円、非資金支出項目である減価償却費が4億8千8百万円、たな卸資産の減少が1億4千8百万円、未収消費税等の減少が7千8百万円あった一方、賞与引当金の減少

が1億7千2百万円、売上債権の増加が3億2千3百万円、法人税等の支払が1億4千万円あったためであります。
(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間において投資活動により減少した資金は25億5千1百万円となりました。(前年同期に比べ支出が25億2千7百万円増加)

この主な要因は、有形固定資産(主に相模大井工場の設備)の取得が24億8千3百万円あったためであります。
(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間において財務活動により増加した資金は14億3千万円となりました。(前年同期は1億6千8百万円の資金の減少)

この主な要因は、長期借入れによる収入が16億円あった一方、配当金の支払が1億5千6百万円あったためであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

通期の連結業績予想につきましては、平成21年10月30日に公表いたしました業績予想に変更ありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 棚卸資産の評価方法

棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、第2四半期連結会計期間末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法によっております。また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

② 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産について、当連結会計年度に係る減価償却額を期間按分して計算しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更
該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,268,238	1,252,442
受取手形及び売掛金	4,483,423	4,159,825
有価証券	404,941	1,210,796
商品及び製品	913,833	1,016,674
仕掛品	403,619	414,914
原材料及び貯蔵品	320,602	354,997
未収還付法人税等	11,024	—
未収消費税等	—	78,086
繰延税金資産	277,994	297,435
その他	79,567	111,781
貸倒引当金	△22,000	△21,000
流動資産合計	8,141,244	8,875,952
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,168,402	2,060,049
機械装置及び運搬具（純額）	936,018	1,030,573
土地	337,241	337,241
建設仮勘定	3,094,396	1,990,188
その他（純額）	129,340	132,638
有形固定資産合計	6,665,398	5,550,691
無形固定資産		
特許権	1,718	6,875
借地権	67,707	67,707
ソフトウェア	50,693	50,621
その他	6,268	6,343
無形固定資産合計	126,388	131,547
投資その他の資産		
投資有価証券	1,565,607	1,559,044
保険積立金	742,730	723,479
繰延税金資産	576,641	674,630
その他	29,278	229,702
投資その他の資産合計	2,914,258	3,186,856
固定資産合計	9,706,045	8,869,095
資産合計	17,847,290	17,745,048

(単位：千円)

当第3四半期連結会計期間末
(平成21年12月31日)

前連結会計年度末に係る
要約連結貸借対照表
(平成21年3月31日)

負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	908,891	984,767
未払金及び未払費用	641,889	655,218
短期借入金	125,000	—
未払法人税等	8,097	130,604
未払消費税等	37,399	888
賞与引当金	120,213	292,900
役員賞与引当金	—	21,130
返品調整引当金	11,000	12,000
設備関係支払手形	49,021	29,064
設備関係未払金	231,371	1,146,666
その他	68,801	26,928
流動負債合計	2,201,685	3,300,167
固定負債		
長期借入金	1,475,000	—
退職給付引当金	1,283,632	1,369,827
役員退職慰労引当金	165,900	173,800
長期預り金	4,970	4,605
長期未払金	—	133,496
固定負債合計	2,929,502	1,681,729
負債合計	5,131,188	4,981,897
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,395,887	3,395,887
資本剰余金	2,675,826	2,675,826
利益剰余金	6,792,866	6,831,407
自己株式	△187,955	△174,869
株主資本合計	12,676,624	12,728,251
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	39,477	34,899
評価・換算差額等合計	39,477	34,899
純資産合計	12,716,101	12,763,150
負債純資産合計	17,847,290	17,745,048

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
売上高	7,711,619	7,461,602
売上原価	2,856,537	3,113,106
売上総利益	4,855,081	4,348,495
販売費及び一般管理費	4,480,544	4,255,080
営業利益	374,536	93,414
営業外収益		
受取利息	15,326	2,241
受取配当金	38,285	30,856
受取地代家賃	21,269	18,729
受取技術料	277,527	122,531
その他	30,221	35,098
営業外収益合計	382,630	209,456
営業外費用		
支払利息	—	11,748
固定資産除却損	8,916	7,489
寄付金	12,165	9,791
その他	6,437	7,334
営業外費用合計	27,519	36,364
経常利益	729,647	266,507
特別損失		
投資有価証券評価損	—	3,320
特別損失合計	—	3,320
税金等調整前四半期純利益	729,647	263,186
法人税、住民税及び事業税	192,440	15,307
法人税等調整額	109,024	114,288
法人税等合計	301,464	129,595
四半期純利益	428,183	133,590

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	729,647	263,186
減価償却費	377,236	488,237
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	1,000	1,000
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	25,808	△86,195
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△158,854	△172,687
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△6,158	△20,245
受取利息及び受取配当金	△53,612	△33,097
支払利息	—	11,748
有形固定資産除却損	8,916	8,158
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	3,320
売上債権の増減額 (△は増加)	△60,510	△323,598
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△227,605	148,530
仕入債務の増減額 (△は減少)	246,119	△75,875
未収消費税等の増減額 (△は増加)	△57,590	78,086
未払消費税等の増減額 (△は減少)	—	36,510
長期未払金の増減額 (△は減少)	△134,313	△133,496
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	—	△7,900
その他	98,426	19,897
小計	788,511	205,581
利息及び配当金の受取額	53,612	33,097
利息の支払額	—	△6,888
法人税等の支払額	△242,674	△140,518
営業活動によるキャッシュ・フロー	599,449	91,272
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	—	△40,000
定期預金の払戻による収入	1,600,000	—
有形固定資産の取得による支出	△1,634,364	△2,483,988
無形固定資産の取得による支出	△1,000	△17,292
投資有価証券の売却による収入	1,600	—
投資有価証券の取得による支出	△2,170	△2,165
投資その他の資産の増減額 (△は増加)	11,297	△8,193
投資活動によるキャッシュ・フロー	△24,637	△2,551,639
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△12,740	△13,085
長期借入れによる収入	—	1,600,000
配当金の支払額	△155,290	△156,606
財務活動によるキャッシュ・フロー	△168,031	1,430,307
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	406,780	△1,030,059
現金及び現金同等物の期首残高	2,015,307	2,463,239
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,422,087	1,433,179

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日）

	医療用 医薬品事業 (千円)	化粧品事業 (千円)	その他の 事業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	5,037,107	1,679,508	995,003	7,711,619	—	7,711,619
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	46,325	46,325	(46,325)	—
計	5,037,107	1,679,508	1,041,328	7,757,945	(46,325)	7,711,619
営業利益又は営業損失(△)	363,729	△53,946	64,754	374,536	—	374,536

当第3四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日）

	医療用 医薬品事業 (千円)	化粧品事業 (千円)	その他の 事業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	4,960,023	1,641,060	860,517	7,461,602	—	7,461,602
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	27,982	27,982	(27,982)	—
計	4,960,023	1,641,060	888,499	7,489,584	(27,982)	7,461,602
営業利益又は営業損失(△)	250,115	△115,063	△41,637	93,414	—	93,414

(注) 1. 事業区分の方法は、販売先及び流通経路を考慮し、医療用医薬品事業、化粧品事業、その他の事業にセグメンテーションをしております。

2. 各区分に属する主要製品・商品

事業区分	主な製品・商品
医療用医薬品事業	医療用医薬品
化粧品事業	一般用医薬品、医薬部外品、健康食品
その他の事業	医薬品原料、診断薬、輸出 他

[所在地別セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年12月31日）及び当第3四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年12月31日）については、本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

[海外売上高]

前第3四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年12月31日）及び当第3四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年12月31日）については、海外売上高が連結売上高の10%未満のため、その記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

6. その他の情報

(重要な後発事象)

当第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年12月31日)

平成22年1月28日開催の取締役会において、本社を移転することを決議いたしました。

これに伴う本社移転費用として平成22年3月期(第4四半期)に特別損失約2千5百万円(固定資産除却損等)を見込んでおります。